

英語教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	「今小学校で何が起きているのか？ Small Talk から意味のある言語活動へ」 ～効果的な小中連携を目指して～	
日時	平成30年12月27日(木)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	瀧沢 広人 先生（国立大学法人 岐阜大学教育学部 准教授）	
参加者	72名	
研修会 の 様子		<p>講師の瀧沢先生は、岐阜大学教育学部で准教授を務めています。埼玉で中学校教員として働きながら、全国の英語教育達人セミナーや教育協議会 ELEC などで講師を務め、英語授業の楽しいアイデアを提供しています。瀧沢先生の著書から授業改善のヒントを得て、実践に活かしている教諭も多くいます。</p>
		<p>本研修会では、「今小学校では何が起きているのか？～プラクティスから意味のある言語活動へ～」と題し、平成30年度から開始された小学校の英語の教科化に対応するため、小学校教材の具体的な活用や言語使用場面選定の仕方などについて提案していただきました。</p>
		<p>小学校での新教材 We can! の教材を用いて、生徒と生徒の英語会話を想定したアクティビティを参加者が体験しました。序盤は新教材の学習活動にゲーム性を取り入れ、楽しみながら基礎基本を身に付ける実践紹介がされました。</p>
		<p>後半では人物を予想するクイズなど、興味を喚起し、情報をやり取りする必要のある場面を設定した活動を体験的に学びました。意味のある会話の作り方の提案をしていただいたことに加え、生徒のやる気を高めるための工夫が随所に凝らされていたことから、生徒主体の授業作りの姿勢を学ぶこともできました。</p>